

ぼくのねこポー

「ぼくのねこポー」を読んで

2年 K・Oさん

ぼくは、動物が好きです。今回、この本を見た時、とても印象的だったのは、ねこの丸く大きな目です。少しさびしそうな、何かを伝えようとしている目に見えました。

ポーは、迷子になってへいの上にいるところを、谷山くんが見つけ、助けてもらいます。谷山くんは、お母さんに、ねこのことを箱にとじこめられていたとうそをついて、家でかうことにしました。でも本当は、転校生としてやってきた森くんが探している迷子のねこがポーだったのです。本当の名前は、「トム」です。

ぼくは、ポーは森くんの家のいなくなったねこかもしれない、そのことを森くんに話さないとけない、でも話したくないという谷山くんの心のかっとうに、ずっとハラハラしていました。早く本当のことを森くんに話してほしい、でも、せっかく仲良くなったポーとずっと一緒にいたい気持ちもよく分かる、どうしたらいいのか一緒にやりました。本の後半で、谷山くんが、勇気を出してポーのことをトムとよんだ時、ポーは谷山くんをじっと見つめます。そして、谷山くんは「決心」します。トムが本当に森くんのねこなら森くんに会いたはずだし、森くんにトムのことを伝えないと、と心に決めたのです。今までトムの気持ちを考えなかったことを後かいている谷山くんに、早く森くんに正直に話さなかったことは良くなかったけど、迷子のねこを助けて、最後はちゃんと自分で正しいことは何か気づき、トムを森くんの元に返せたのだから立派だよと言ってあげたいです。また、うそをついてしまった森くんとお母さんに、あやまらなきゃいけないと思っている谷山くんはえらいと思いました。本の最後で、「トム、よかったね。」と言った谷山くんを見つめるトムの大きな目から、ぼくは、きつとトムも、「助けてくれて、森くんの元に返してくれてありがとう。」と谷山くんに言ってくれているのだと思いました。

この本を読んで、まちがったことをしてしまった時、自分で何が正しいことなのか一生けん命考えて、正しいことを行うことが大切であることを学びました。ぼくも、谷山くんの「決心」を見習いたいと思います。